



FY2022.06 NIX GROUP 事業報告書

New Infrastructure X
NIX 株式会社 新日本コンサルタント

本社 〒930-0857 富山県富山市奥田新町1番23号
TEL. 076-464-6520 (代) / FAX. 076-464-6671

東京本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号
TEL. 03-6802-8876 / FAX. 03-6802-8626



shinnihon-cst.co.jp

新日本コンサルタント

ご挨拶

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに FY2022.06 (2021 年 7 月 1 日 ~2022 年 6 月 30 日) 決算及び事業概要についてご報告申し上げます。

今後も役職員が一丸となって、企業としての社会的責任・公共的使命を自覚し、マーケットに左右されない強靱な組織づくりに取り組んでまいります。皆様におかれましては、引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

New Initiatives X = NiX 2022 年 9 月

NiXグループ 代表

株式会社新日本コンサルタント
代表取締役社長

市森 友明



CONTENTS

NiXグループ	決算ハイライト	01
新日本コンサルタント	決算ハイライト	02
新日本コンサルタント	事業内容報告	03
新日本コンサルタント	主な実績	05
NiXグループ	中期経営計画	07
NiXグループ	ニュース&トピックス	09
NiXグループ	組織体制	10
NiXグループ	グループ会社概要	11
新日本コンサルタント	会社概要	12

NiXグループの業績

FY2022.06NiX グループ決算については、国土強靱化を背景とした受注増加及び収益認識基準適用に伴う売上計上基準の変更により、売上高は前期比 26.9% 増の 5,429,036 千円となりました。収益性指標である営業利益・EBITDA も、グループ全体で順調に増加し、営業利益は前期比 23.2% 増の 510,730 千円、EBITDA は 19.0% 増の 756,102 千円、また海外事業への投資に対する大幅な為替差益が発生したことで、当期純利益は前期比 119.1% の 657,330 千円となりました。グループ経営においても、営業・技術連携や管理本部機能のシェアードサービス強化を進めており、新しい技術サービス業への実現に向け、加速化しています。

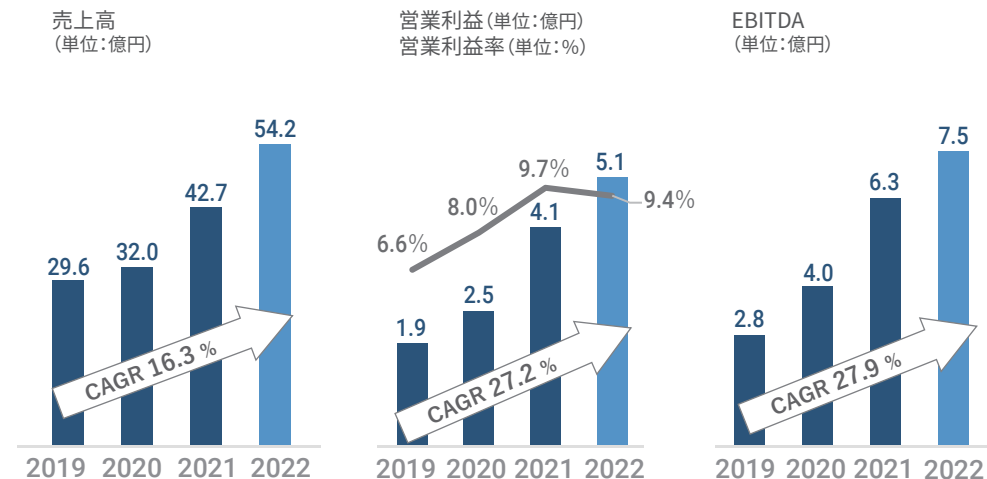
NiXグループ経営成績

(単位:千円)

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	前期比
売上高	2,961,279	3,208,334	4,277,058	5,429,036	26.9%
営業利益	195,131	255,968	414,677	510,730	23.2%
営業利益率	6.59%	7.98%	9.70%	9.41%	▲0.29pt
経常利益	198,415	288,755	471,367	982,063	108.3%
当期純利益	95,346	106,176	299,961	657,330	119.1%
EBITDA	282,496	407,933	635,368	756,102	19.0%

※合算対象は基幹事業8社(1社未公表)、ニックスニューエネルギー、NiX湯涌ハイドロパワー
 ※M&A費用、のれん償却費等連結決算に伴い計上すべき費用、海外事業を除く

NiXグループ売上高・営業利益の推移



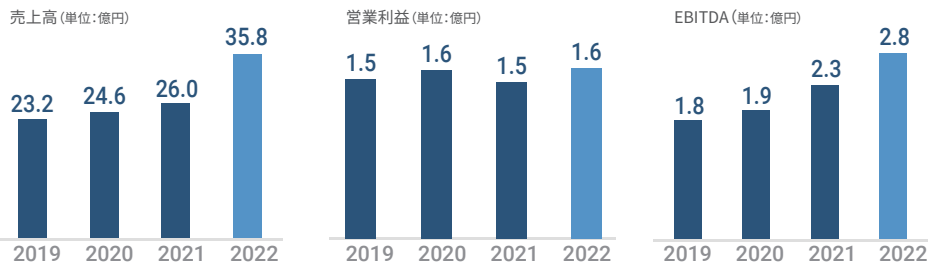
新日本コンサルタントの業績

グループの中核企業として、FY2022.06 も M & A や次世代インフラマネジメント事業サービスへの研究開発投資を引き続き行いましたが、ネットキャッシュ 7,605 千円、自己資本比率は 43.0% と引き続き安定した財務基盤を維持しています。また選択と集中による事業譲渡に伴う売却益と基幹事業グループからの配当収入により、当期純利益は 266,948 千円(243.9%増)となり、ROE、ROA も大きく伸長しました。受注面においても、受注高 3.7% 増、完成基準をベースとした翌期への売上残高(受注残高)は 17.4% 増と引き続き堅調であり、増収基調は維持しています。

新日本コンサルタント収益指標

(単位:千円)

	FY2020	FY2021	FY2022	前期比
売上高	2,464,135	2,620,254	3,583,510	36.8%
営業利益	164,390	152,100	165,708	8.9%
EBITDA	197,422	235,331	284,304	20.8%
当期純利益	10,396	77,604	266,948	243.9%
純資産利益率(ROE)	1.5%	10.0%	27.8%	17.8pt
総資産利益率(ROA)	0.7%	4.5%	11.9%	4.4pt
受注高	2,661,109	2,845,244	2,951,420	3.7%
翌期売上残高	1,454,003	1,635,117	1,919,021	17.4%

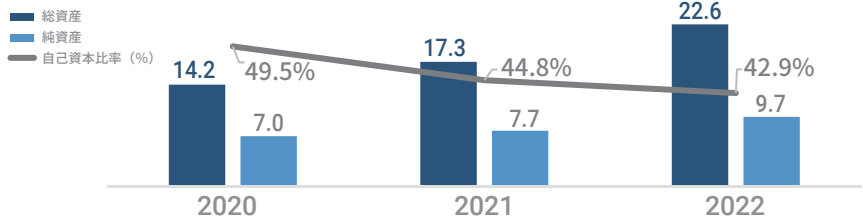


新日本コンサルタント財政指標

(単位:千円)

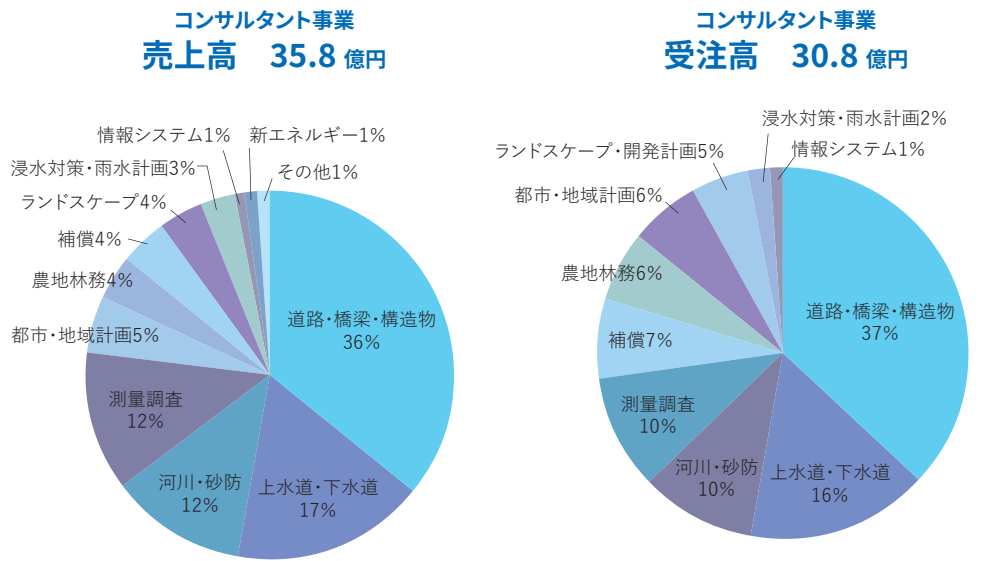
	FY2020	FY2021	FY2022	前期比
総資産	1,421,547	1,738,253	2,255,226	29.7%
純資産	704,085	779,186	967,731	24.2%
自己資本比率	49.5%	44.8%	42.9%	▲1.9%
ネットキャッシュ	393,608	71,716	7,605	▲89.4%

※ネットキャッシュは現金・預金残高から有利子負債を引いたものとする



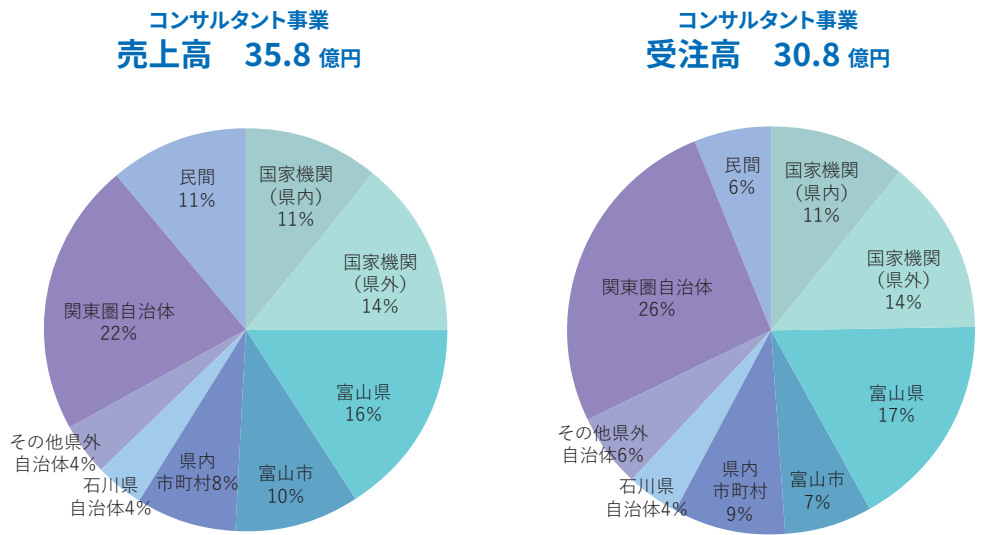
事業分野別比率

国土強靱化予算により道路・橋梁・構造物、上水道・下水道の社会インフラ分野は堅調に推移し、売上に貢献しました。
プロポーザル案件の特定増により都市計画部門が売上、受注ともに増加しました。また鉄道運輸機構の大型案件により補償部門の受注が増加、45 期 (FY2023.06) の売上に貢献する見込です。

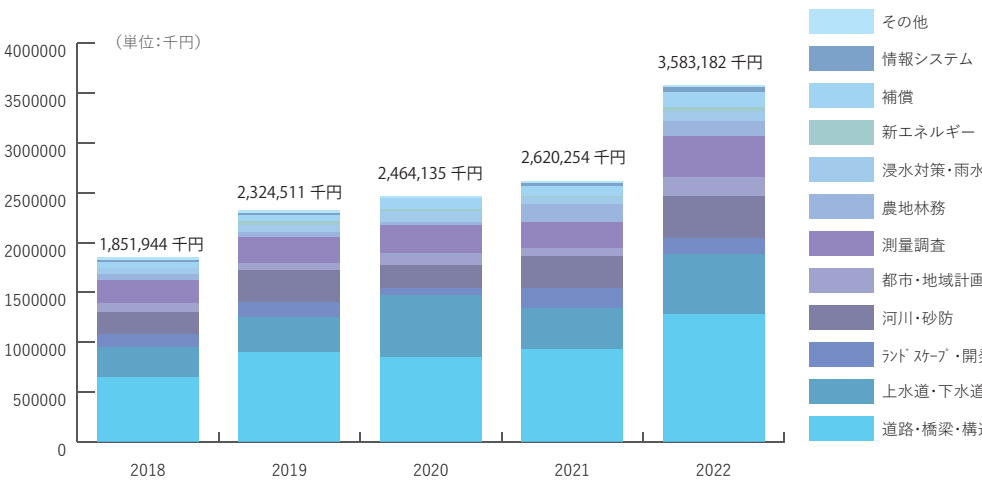


発注者別比率

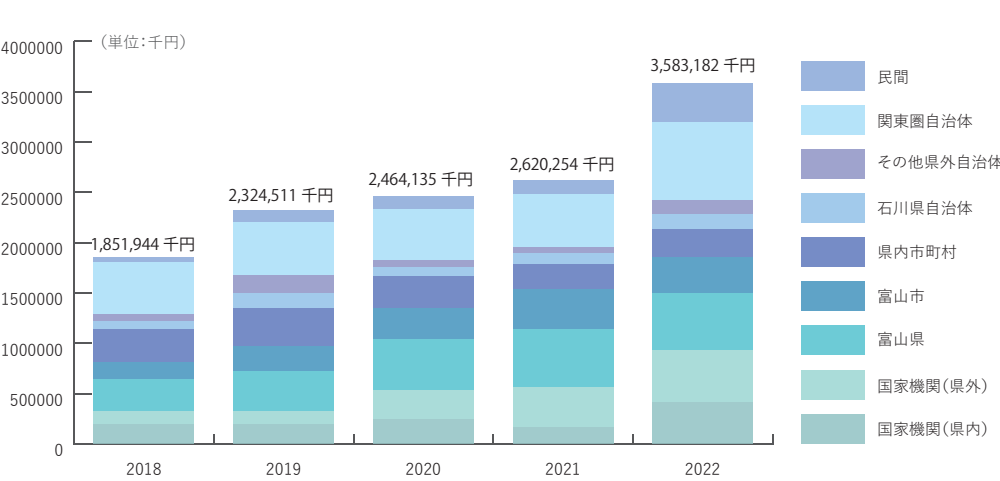
国土交通省、農林水産省、鉄道運輸機構、NEXCO 等の国家機関からの受注は好調、またプロポーザル案件や関東圏の大型受注シフトにより、富山県、富山市など北陸圏の受注割合は低下しました。ゼネコンからの再生可能エネルギー事業関連の大型案件をグループ連携で対応し、売上増加に寄与しました。



事業分野別売上高推移



発注者別売上高推移



主な実績

FY2022.06	完成業務 591 件	お取引先 182 団体
	受注業務 402 件	お取引先 148 団体

道路及び橋梁計画設計

- ・北陸新幹線、あわら市・坂井市間諸設備設計他（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）
- ・令和3年度立山砂防事務所管内橋梁点検業務（国土交通省立山砂防事務所）
- ・令和3年度富山管内橋梁耐震補強設計業務（国土交通省富山河川国道事務所）
- ・都市計画道路牛島蛭川線電線共同溝詳細設計業務（富山県富山土木センター）
- ・電線共同溝詳細設計及び試掘調査（奥戸1・3工区）
（東京都道路整備保全公社）
- ・春江橋架替詳細設計委託（東京都江戸川区）
- ・新湘南バイパス赤羽根高架橋西コンクリート橋耐震補強設計
（中日本高速道路（株））
- ・猫実A地区土地区画整理事業に伴う交差点改良実施設計業務
（千葉県浦安市）



赤羽高架橋

スポーツ施設及び緑地・造成計画設計

- ・国営越後丘陵公園事務所土木施設補修設計業務（国土交通省国営越後丘陵公園事務所）
- ・多世代型ウェルネス広場設計業務委託（福井県敦賀市）
- ・播磨中央公園ローラースポーツパーク設計業務（兵庫県加東土木事務所）
- ・諏訪北公園実施設計委託（東京都多摩市）
- ・夢見ヶ崎公園（中央エリア）基本設計業務（神奈川県川崎市）
- ・南羽咋駅周辺宅地造成基本計画作成業務（石川県羽咋市）
- ・豊浦小学校グラウンド整備実施設計業務（新潟県新発田市）

上下水道計画設計

- ・公共下水道下畠居排水区下畠居二丁目地区下畠居貯留池実施設計業務（富山県富山市）
- ・穴水浄化センター耐震補強実施設計業務（石川県穴水町）
- ・穴水町公共下水道事業下水道総合地震対策計画策定業務（石川県穴水町）
- ・犀川左岸流域下水道ストックマネジメント計画策定業務（石川県土木部）
- ・下水道雨水ポンプ場耐水化計画策定業務（石川県金沢市）
- ・大久保浄水場工水配水池耐震補強実施設計業務（埼玉県企業局）
- ・左敷田ポンプ場増強基本設計業務（埼玉県越谷市）
- ・雨水ポンプ場等浸水対策検討業務（大阪府柏原市）
- ・北部流域処理場ほか耐水化計画策定業務（埼玉県荒川左岸北部下水道事務所）
- ・利根右流域処理場2系水処理施設耐震診断業務（埼玉県荒川左岸北部下水道事務所）



左敷田ポンプ場

河川砂防及び港湾計画設計

- ・内川流域揚水機場操作制御設備修繕設計業務（国土交通省富山河川国道事務所）
- ・令和3年度下新川海岸保全施設詳細設計業務（国土交通省黒部河川事務所）
- ・令和3年度常願寺川（利田地区）浸透対策検討業務（国土交通省富山河川国道事務所）
- ・令和3年度黒部川堤防等設計業務（国土交通省黒部河川事務所）
- ・牧尾貯水池内護岸補修実施設計等業務（水資源機構愛知用水総合管理所）
- ・氷見漁港漁港機能増進機能保全計画更新業務（富山県氷見土木事務所）
- ・小矢部川圏域子撫川（砂防）緊急改築堰堤補強詳細設計業務（富山県高岡土木センター）

農業土木計画設計

- ・国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業診断技術実証試験業務
（北陸農政局西北陸土地改良調査管理事務所）
- ・大利根用水国営施設機能保全事業東陽白浜支線用水路等改修実施設計業務
（関東農政局利根川水系土地改良調査管理事務所）
- ・関川用水農業水利事業中江幹線用水路（第1号落差工）設計他業務
（北陸農政局関川用水土地改良建設事業所）
- ・北総東部用水事業計画概略検討業務（水資源機構千葉用水総合管理所）

官民連携事業

- ・富山駅周辺エリア官民連携推進事業業務（富山県富山市）
- ・新学校給食センター整備手法・概算工事費検討支援業務（富山県小矢部市）

都市計画及び地方計画

- ・呉羽丘陵フットパス活性化計画策定業務（富山県富山市）
- ・グリーンスローモビリティ運行管理業務（富山県富山市）
- ・城端線・氷見線沿線地域公共交通計画策定業務
（城端・氷見線活性化推進協議会）
- ・マリンドリーム能生周辺整備活用等推進ビジョン策定業務
（新潟県糸魚川市）
- ・公共施設等総合管理計画改訂支援業務（石川県羽咋市）
- ・立地適正化計画策定支援業務（富山県射水市）
- ・全国都市緑化かわさきフェア基本計画策定支援業務（神奈川県川崎市）
- ・第2期川崎市緑の実施計画策定支援業務（神奈川県川崎市）



グリーンスローモビリティ

測量

- ・令和3年度宇奈月ダム貯水池横断測量業務（国土交通省黒部河川事務所）
- ・令和3年度利賀ダム管内測量（その1）業務
（国土交通省利賀ダム工事事務所）
- ・浦安市地籍予備調査測量業務委託 富岡一丁目（千葉県浦安市）



宇奈月ダム

補償コンサルタント

- ・跡津川砂防堰堤群（流木対策工）用地調査等業務（国土交通省神通川水系砂防事務所）
- ・令和3年度用地調査等業務単価契約（土地）（国土交通省富山河川国道事務所）
- ・令和3年度管内地盤変動影響調査業務（国土交通省富山河川国道事務所）
- ・小矢部川河川改修（長江地区）建物事前調査業務（国土交通省富山河川国道事務所）
- ・8号俱利伽羅防災土砂置場用地調査等業務（国土交通省富山河川国道事務所）

情報システム

- ・道路パトロール業務 I C T 管理システムサービス（富山県土木部）
- ・下水道台帳システムクラウドサービス（富山県射水市）
- ・道路維持管理システム導入業務（富山県高岡市）

中期経営計画

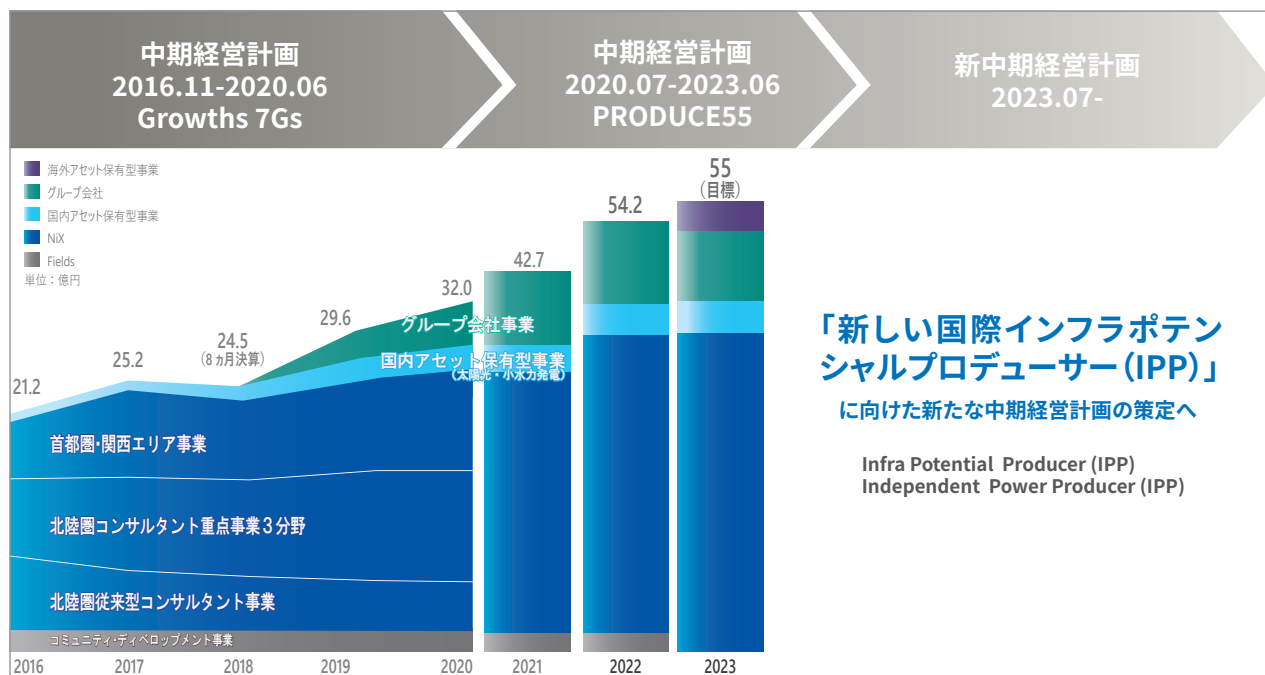
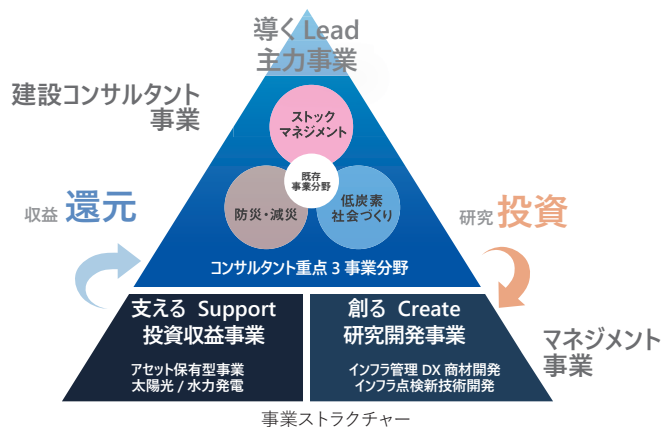
Growths^{2nd} 2020.07-2023.06
PRODUCE 55

近年、DX（デジタルトランスフォーメーション）、LDX（ローカルデジタルトランスフォーメーション）時代を迎え、IoT・ビッグデータ・人工知能・ロボット等の業務への活用、また RPA（ロボティックプロセスオートメーション）や i-Construction への取組（CIM、3D 設計・測量、自動設計施工）など、保守的である建設コンサルタント業界も ICT 技術を活用することにより、従来のドメインを超えた事業展開が求められています。

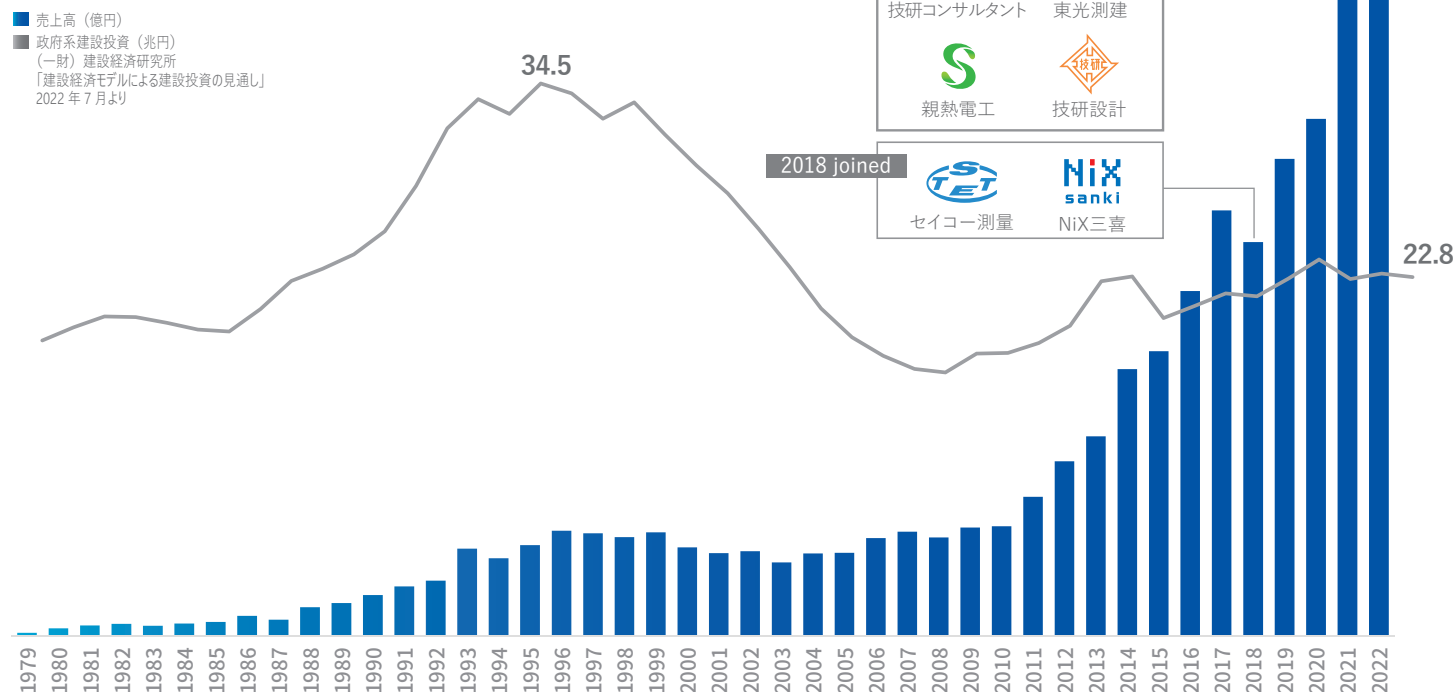
また、新型コロナウイルスの大流行がもたらした未曾有の経済危機の中、NiX グループは、この状況を「危機」ではなく「機会」ととらえ、更なる成長と企業価値の向上を目指すために、新たに3ヵ年（2020年7月～2023年6月）の新时期経営計画「Growths 2nd PRODUCE50」を策定しました。中期経営計画ビジョンとしては、前中期経営計画「Growths」に掲げた成長路線を基本踏襲し、基幹事業においては重点3事業分野を中心としたコンサルタント事業に加え、次世代型インフラマネジメント事業サービスの提供やPPP/PFI業務の創出を通じ、土木設計業からインフラ技術サービス業への進化を図ります。またそれらと並行し、投資収益事業・研究開発事業として、国内外での再生可能エネルギー事業の展開加速、複数の産学官連携研究事業の商業化を実現し、日本で希少な存在と認識される「PPP企業」を目指しています。

直近では、第 43 期において M&A を活用し基幹事業会社 5 社増加したこと、第 44 期から収益認識基準対応により売上基準変更となったことにより、第 45 期（2023.6 月期）グループ全体売上目標を 55.0 億円（直近 50 億円：当初 45 億円）に再度上方修正しています。

NiX グループは、地域社会インフラの強化やインフラ技術者の雇用維持・技術伝承、国内外での再生可能エネルギー事業を通じた脱炭素化への貢献・新興国の電力不足解消などの社会的課題を解決することで、経済的価値を同時に増大する「CSV 経営」をグループ経営方針に掲げ、今後も【サステイナブルな社会に必要なレジリエントな企業】を目指し、地域に不可欠な企業となるよう努力いたします。



政府系建設投資額(決算前年度)と
NiXグループ売上高



ニュース&トピックス

2021.09

中山楓奈選手とスポンサー契約締結

富山市出身のプロスケートボーダー中山楓奈選手(所属ムラサキスポーツ)とスポンサー契約を締結いたしました。北陸で初めての公式スポンサーです。



2021.09

インドネシア産業用需要家向け屋根置き太陽光発電事業開始

ニックスニューエネルギー(株)を通じ、アラムポート(株)と共同でシンガポールに合併会社「ALAM NIX RENEWABLES PTE LTD」を設立し、インドネシア共和国における産業用需要家向け屋根置き太陽光発電事業に参入しました。



2021.11

第8回 ナショナル レジリエンスデザインアワード グランプリ受賞

株式会社フォーラムエイト主催「第8回ナショナル・レジリエンス・デザインアワード」にて、当社の「既設鋼管アーチ水管橋の耐震検討～鋼アーチ部材の損傷確認と脚の非線形耐震性能照査～」がグランプリ(最優秀賞)を受賞しました。

2021-2022

デジタル・ニックスの推進

道路維持管理システム「みちクラ」が「MCPC award 2021」サービス&ソリューション部門で奨励賞を受賞しました。

経済産業省「DX セレクション 2022」に新日本コンサルタントのDXの取組みが優良事例に選定されました。

経済産業省「DX 認定事業者」に新日本コンサルタントが選定されました。



2022.03

グループ代表 市森 友明が
京都大学博士号(経営科学)を取得

2022.05

金沢ゆわく小水力発電所 竣工

当社国内3番目の小水力発電所となる「金沢ゆわく小水力発電所」(164kW)が稼働しました。浅野川水系で唯一の小水力発電所である旧白雲楼河内発電所の再生・復活事業です。



2022.05

新日本コンサルタント 大阪支店 移転

2022.05

株式会社親熱電工と
株式会社サン・エレクトリックシステムズ 経営統合

2021年9月に株式会社サン・エレクトリックシステムズはNiXグループに加入し、2022年5月にNiXグループの株式会社親熱電工と経営統合しました。

2022.06

コミュニティディベロップメント事業の
株式会社Fields都市総合研究所を事業譲渡

丸源ラーメン 掛尾店、横川店を運営していましたFields都市総合研究所を事業譲渡いたしました。

2022.06

事業継続力強化計画(BCP) 認定

NiXグループは、経済産業省中部経済産業局より事業継続力強化計画認定を受けました。



2022.06

「健康優良企業 銀の認定」取得

NiXグループ基幹企業全体で「健康優良企業 銀の認定」(同等の認定)を取得しました。



新日本コンサルタント

取締役・執行役員

代表取締役社長

市森 友明

京都大学博士(経営科学)
技術士 建設部門(トンネル)
技術士 総合技術監理部門(トンネル)

取締役執行役員

インフラマネジメント事業本部長

開米 浩久

技術士 建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)
技術士 上下水道部門(上水道及び工業用水道)
技術士 農業部門(農業土木)

取締役執行役員

首都圏事業本部長

真田 浩幸

取締役執行役員

構造技術本部長・東京本社社長

戸田 一夫

技術士 建設部門(鋼構造及びコンクリート)

取締役執行役員

管理本部ゼネラルマネージャー・海外事業統括

芳尾 航

執行役員

首都圏事業本部・グループ測量技術統括担当

米島 秀浩

測量士
補償業務管理士(土地調査部門)

執行役員

技術監査室長・建設マネジメント事業担当

阿曾 克司

博士(工学)
技術士 建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)
技術士 建設部門(土質及び基礎)
技術士 総合技術監理部門(土質及び基礎)

執行役員

営業本部長

小坂 由紀夫

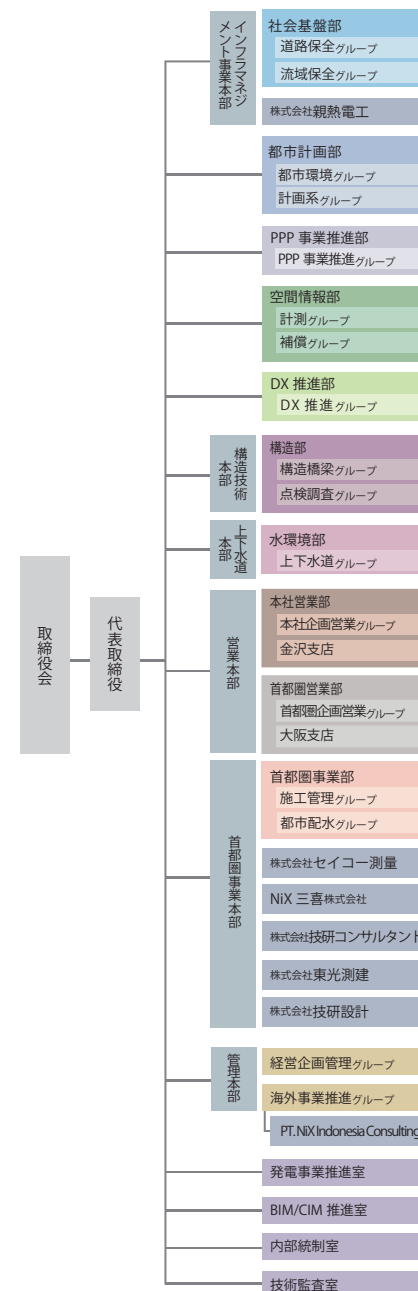
執行役員

上下水道本部長

安達 慎也

技術士 上下水道部門(下水道)
RCCM 機械部門

組織図



組織体制

